



「どんなことを学びたい?」。これから「SMILE Asiaプロジェクト」を行うカンボジアの村でACCUの職員(右端)が訪れニーズを調査し、授業内容に生かす

ACCUの支援を受け、各国が自国の文化に合わせて作成した識字教育教材。本だけではなく、ゲームや紙芝居、人形劇などバラエティー豊か



国際協力の担い手たち

公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター 教育で非識字者の道を照らす

アジア太平洋地域で、識字教育支援を行っている公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)。中でも、教材開発と女性の識字能力向上に力を入れている。

アジア太平洋諸国が 共に識字教材を作成

国連教育科学文化機関(UNESCO)の統計によると、世界の非識字者数は約8億人。そのうち約3分の2がアジア太平洋地域に住むといわれる。この状況を改善しようと、同地域の識字教育の発展に1980年代からUNESCOとともに協力してきたのが、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)だ。

ACCUは71年に民間と日本政府の協力により設立。以来、アジア太平洋

識字教育の大切さを分かりやすく伝える識字アニメーション「ミナの笑顔」。できるだけ多くの人に見てもらいたいと67言語を収録

地域で、教育の推進、文化遺産保護、人材交流に寄与することを目的に幅広い活動を行っている。

中でも教育の推進では、識字教育に力を入れてきた。なぜなら、子ども向

び、まずはマスター版となる英語の教材を完成させる。さらに今度はそれぞれ別の国が自国の言語や文化に合わせてアレンジし、普及させていくのだ。

同じ教材でも、国によってアニメ調だったり映画調だったりイラストも異なり、人々の服装や家の様子などもその国仕様になる。「この教材を使う人が家に持ち帰って読みたいと思えるよう、できるだけ自分の生活と身近に感じてもらう、文字に触れる機会を増やせるようにしたのです」とACCU事業部次長の柴尾智子さんは語る。

さらに93年には「ミナの笑顔」と題した世界初の識字アニメーションも作成。非識字者だった主人公のミナが数々の困難を乗り越え、読み書きができるようになるまでを描いたストーリー1で、07年には37言語でDVDに収録。それに加え、これまでに作成した67言語の665点にもなる教材を2010年に「アジア太平洋識字データベース」*1上で公開し、誰でも閲覧できるようにしている。

読み書きとともに 生活上に役立つ知識を

教材開発とともにACCUが力を入れてきたのは、女性への識字教育。世界の成人非識字者の3分の2以上は女性とされ、読み書きのみならず、保健衛生や食生活に関する知識がない人も多からず。そのためACCUは、現地NGOと共同で「女性のための識字



識字教育を担当する省庁やNGOの職員が各国から集まり、意見交換しながら共同で識字教育教材を作成

識字教室に通う母親たちには、アルファベット表など教材が入ったギフトバックを配布。持ち帰って家族にも知識を共有できる(フィリピン)

「SMILE Asiaプロジェクト」で運営されている母親対象の識字教室で、子どもを抱えながら参加する母親たち(インドネシア)



教育センター」を17カ国に設立し、07年からこれらを拠点に「SMILE Asiaプロジェクト(識字と母子保健推進事業)」を開始。文字の読み書きに加えて、妊婦・母親への保健、栄養、基礎衛生、子どもの検診・予防接種についてなど、母子の健康に役立つ知識を学べるのが特徴だ。

フィリピンのミンダナオ島コタバト市で行われた識字教室には約30人の母親が参加し、識字と母子保健、さらに有機農業による野菜の栽培方法や栄養について学んだ。「最初は、『今さら勉強して何になるんだ』と夫に反対されました。でも、栄養バランスをとるために日々の食事に野菜を取り入れるなど、生活の改善に生かせる知識を勉強していると知り、次第に応援してくれるようになりました」と母親たちは口をそろえる。「女性は家族や子どもの健康を左右し、家庭を、そしてコミュニティを変えていく大きな存在なのです」と柴尾さんも話す。

さらにACCUは、教育を受けずに学齢期を過ぎてしまったアフガニスタンの人々を支援するJICAの「識字教育強化プロジェクトフェーズ2」(12ページ)に関連記事に、職員の小荒井理恵さんをJICA専門家として派遣。国連やNGOで10年前から同国の教育支援に携わってきた経験を生かし、識字局が質の高い教育を提供できるように、職員の能力強化に取り組んでいる。また、JICA、教育協力NGOネットワークと共同で毎年「EFFA



グローバルモニタリングレポートシンポジウム」を共催し、日本の人々が世界の教育や非識字の課題について知るための機会も提供している。

「以前は、自分がまるで目が見えない人間のようなだったが、読み書きができるようになった今は光が見える」

識字教室に通ったあるカンボジア人女性の言葉が示すように、識字とは人間の尊厳にかかわること。ACCUはこれまで培った経験とネットワークを生かし、アジア太平洋地域のニーズに即した識字教育支援をこれからも継続していく。

*1 URL: www.accu.or.jp/litbase/material/

*2 Supporting Maternal and child health Improvement and building Literate Environmentの略。